



財政は
大丈夫？

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方公共団体の財政危機を早期に是正することを目的として、財政判断指標を公表することが義務付けられています。

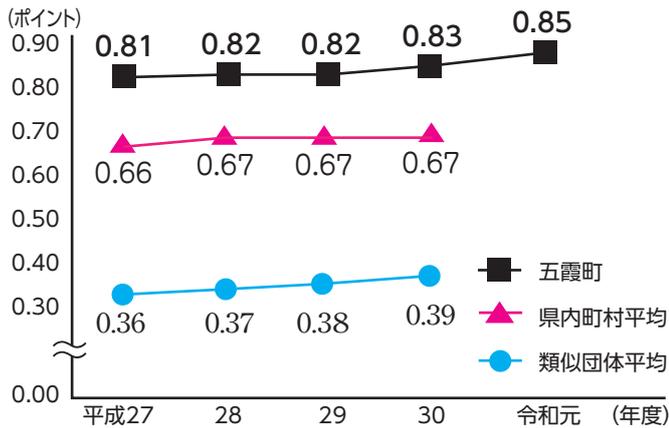
実質公債費比率及び基金の減少により将来負担比率が上昇しましたが、財政健全化としては基準以下となっています。

しかしながら、今後、さらに人口減少や社会保障費・公共施設の更新費用等が増大していくことが中期財政見通しにおいて試算されており、極めて厳しい状況が考えられます。

引き続き、本町の財政状況や運営課題を明らかにし、持続可能な財政運営を行うための指針となる中期財政見通しを更新しながら健全な財政運営に努めていきます。

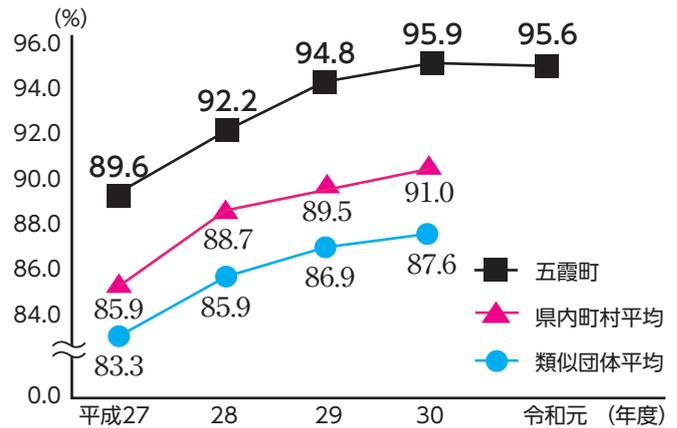
財政力指数（3か年平均）

高いほど町が自力で調達できるお金が多い



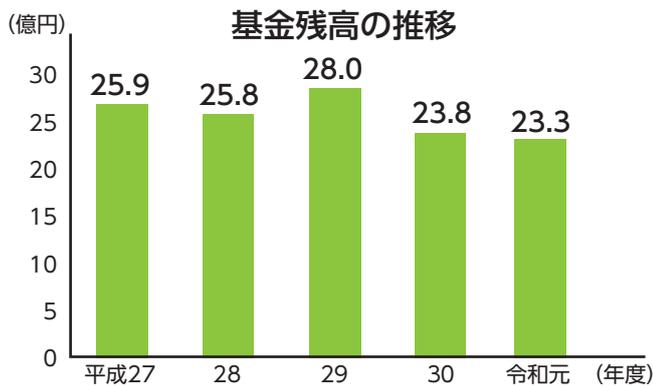
経常収支比率

高いほど自由に使えるお金が少ない



指標	数値	前年度比	内容
実質赤字比率 (基準15.00)	赤字なし	—	一般会計を中心とした赤字の割合
連結実質赤字比率 (基準20.00)	赤字なし	—	一般会計のほか、特別会計や企業会計までを含めた全会計の赤字割合
実質公債費比率 (基準25.0)	8.4%	△0.5%	年間の借金返済額の割合
将来負担比率 (基準350.0)	53.6%	12.9%	将来に負担が見込まれる借金の割合

基金残高の推移

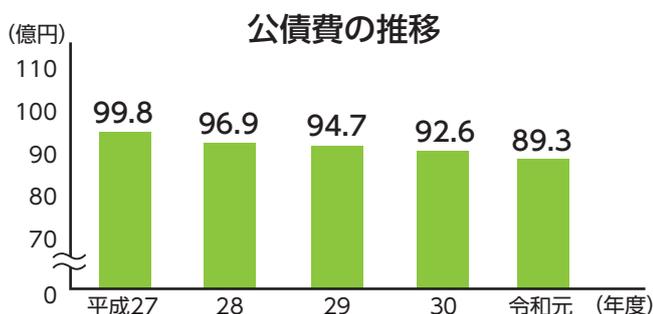


町の貯金（基金積立金）は、公共施設修繕工事、財源調整による財政調整基金の取り崩しを行ったため減少し、総額は23億3千万円となりました。



貯金は
どれくらい？

公債費の推移



町の借金（地方債）は、公共施設等適正管理推進事業債（B&G海洋センター改修工事）、緊急防災・減災事業債（防災行政無線デジタル化事業）、公共下水道事業債等、新たな借入れがありました。が、計画的な償還により、地方債は年々減少傾向にあります。



借金の
残高は？